

第 6 学 年

- 1 研究主題 「表現力・コミュニケーション力を高める指導方法の工夫」
ー 学び合い，高め合う学習活動を目指して ー

2 育てたい力

◆表現力

- 自分の考えを筋道立てて話すことができる。
- 相手の考えや思いを意識しながら，自分の考えを相手に伝える工夫ができる。

◆コミュニケーション力

- 自分の考えを持って相手の話を聞き，質問や意見，感想を伝え合うことができる。
- 相手の考えや思いを尊重しつつ，深まり，広がりのある話し合いができる。

3 研究の視点と手だて

〔視点1〕 深まりが持てるような話し合い活動の工夫

- 意見交換が活発にできる話し合い活動にふさわしい題材研究

〔視点2〕 相手の考えや思いを受け止めたり，自分の考えを広げたりできるような学習シートの工夫

- 自分の考えを筋道立てて相手に伝えるための学習シート
- 相手の考えや思いを受け止め，話し合いに生かせる学習シート

第6学年 成果と課題

昨年度のサブテーマ～グループによる話し合い活動を通して～において、相手の思いを受け止め安心して話し合いができる人間関係の基盤ができたことを受け、今年度は最高学年として～学び合い、高め合う学習活動を目指して～と設定した。教科担任制であるため、それぞれの教科において、教材研究や指導方法の工夫・改善を進めていくこととなるが、育てたい力の育成に向けてどの教科においても意識して進めていくこととした。

○ 成果

〔視点1〕 深まりが持てるような話し合い活動の工夫

	題 材	話し合いの場の設定
1組 国語	「平和のとりでを築く」 「平和のとりでを築く」の学習後、自分たちの生活と結びつけた自分の考える「平和」の発表・交流する活動	自分の考えを発表し合い異なった視点を認め合う →自分の考えに修正を加える学び合い ◇生活班をベースにした班編成 ◇相互交流での意見交換による深まり
2組 学総 習合 的時 な間	「仕事って何？」 仕事を選ぶ価値観を意識させ、今の時点での自分の考えを広げていく話し合い・発表の活動	自分の考えを発表し合い相互交流へ向けての意見をまとめる →異なった考えとの意見交換による広がり ◇同じ意見の班編成 ◇全体での相互交流のための意見発表
3組 体育	「跳び箱運動」 相手の動きと自分の動きを合わせるような技能の習得・心配りをしながら「跳び箱運動」の集団演技を創作・発表する目的で話し合う活動	自分の考えを提案し合う →1つのものを作り上げる目的を持った学び合い ◇生活班をベースにした班編成 ◇相互交流での意見交換による深まり

6年間のまとめの時期に入っていたこともあり、どの教科も、これまでの知識や技能を生かし総合的に考え、まとめる内容となった。中学校に向けて多くのことを吸収する成長のこの時期。自分の考えを広げるため、友達の意見を尊重しながら話し合いを活発化することができ、学び合いを高めることができた。

〔視点2〕 相手の考えや思いを受け止めたり、

自分の考えを広げたりできるような学習シートの工夫

昨年度、自分の考えを筋道立てて相手に伝えるため、また、相手の考えや思いを受け止め話し合いに生かすための手立てとしての学習シートは、一人一人の考えが明確となりコミュニケーションを深めていくのに有効であることが成果としてあげられている。

そのことを受け、今年度は、学習カードを活用する際に、「視点」を明確にすることに注意して活動させた。その「視点」は、本人が考えるための視点にもなり、相手の意見を認め聞くための視点ともなった。学習の中の流れとして「自分の考えを持つ→発表するために書く→メモを取るポイントとなる→聞く活動に集中する→学習内容を深める」というように、ワークシートは多様に活用することができた。自信を持って話し合いに臨み、時間を有効に使う意味でもワークシートは有効であった。

● 課題

- ① 話し合いの深まりにグループの差が見られたため、話し合いをリードしまとめていく体験を多くし、司会の進め方の指導をしていくことも必要だと感じた。
- ② ノート指導の重要性はもちろんであるが、学習シートにおいても、個人の変容を見ることができるよう工夫、評価に生かせるような工夫をし、支援の手助けとなるような活用を目指したい。
- ③ 一定の教科にこだわらず、教育活動全体を通し、機会をとらえて、メモを取る力、まとめる力、コミュニケーション力をつけていくよう意識していきたいものである。